

入院のご案内



病院理念・基本方針・権利と責務

病院理念

私たちは、地域に密着した信頼される病院を実現します。

基本方針

1. 患者さんに寄り添い地域のニーズに応える医療サービスを提供します。
2. 医療・介護・福祉の連携を推進し、良質で安全な医療を提供します。
3. 地域住民を支える社会福祉事業を推進します。
4. 職員が満足してやりがいの持てる職場を作ります。

権利と責務

患者さんの権利

私たちは患者さんの人権を尊重し、患者さん・ご家族と医療者がお互いに良いパートナーシップ（対等な関係）を結んで、信頼される医療を行います。

1. 個人として、常にその人格が尊重されます。
2. 良質で適切な医療を公平に受ける権利があります。
3. 病状、検査、治療などについて十分な説明と同意（インフォームド・コンセント）を受ける権利があります。
4. 自分の意志に基づき検査や治療法を選択、決定する権利があります。
5. 診断や治療方針について別の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
6. 自分の診療に関する記録などの医療情報を共有する権利があります。
7. プライバシーが尊重され、個人情報が保護される権利があります。
8. 適切な緩和ケアを受ける権利があります。

患者さんの責務

患者さんと共により良い医療を築くためにご協力ください。

1. ご自身の症状や病気に関する情報を正確に提供してください。
2. 十分な理解と合意の上で、検査や治療などを受けてください。
3. 医療は良好な協力関係に基づく共同行為であるとの認識に立ち、自らも療養に努めてください。
4. 快適な医療環境の維持と医療安全のために、院内ルールやマナーを守ってください。
5. 診療にかかる費用をお支払いただく責務があります。（医療費等でお困りの際はご相談ください）

ご入院にあたって

このたびのご入院に際し、心からお見舞い申し上げます。患者さんの一日も早いご回復を心から願っております。病気のことや検査・治療等でわからないことがございましたら、ご遠慮なく医師または看護師にお尋ねください。

なお、当院職員に対する心づけは一切お受けしておりません。

このご案内は、入院日までにご確認いただきたいことをまとめておりますので、患者さんをはじめご家族の皆さんにも一度お読みいただきますようお願いいたします。

入院までの流れ

入院が決まってから入院当日までの流れは次のとおりです。

入院予約

医師が入院の説明と予約を行います。

(個室利用がご希望であれば、予約状況を確認いたします)

入院前 オリエンテーション

入院手続き等について事前説明を行います。

入院日にご来院いただく時間を決めます。

入院日にご持参いただくものをご説明いたします。

入院日当日

入院受付

事前に指定した時間に1階の受付窓口にお越しください。

(正面入口から入って右側)



入院

入院する病室にご案内いたします。

入院日 オリエンテーション

入院生活に関する注意点等についてご説明いたします。

お薬の説明

薬剤師がお薬についてご説明いたします。

入院予定診療科

科

入院予定病棟

病棟

病室

号室

入院予定日時

令和 年 月 日 時 分

◆入院予定日が決まっていない方は、ベッドが空き次第お電話いたします。

※ご都合により入院予定日の変更、取り消しをされる場合は、お早めに当院外来にご連絡ください。

入院の手続きについて

■ 入院当日の手続き

入院当日の手続きに必要な書類ですので、すぐに取り出せるようにご準備ください。

入院手続きに必要なもの	該当にチェック印してご確認ください。
<input type="checkbox"/> ① 受診カード(外来診療の時に使用している診察券)	
<input type="checkbox"/> ② マイナ保険証(健康保険証として利用登録したマイナンバーカード) もしくは資格確認書	
<input type="checkbox"/> ③ 印鑑(認印)	
<input type="checkbox"/> ④ 入院申込書(兼誓約書) 内容を十分にご確認ください。 入院者・連帯保証人(身元引受人)の方の自署捺印をお願いいたします。	
<input type="checkbox"/> ⑤ 現在お使いのお薬、お薬手帳	
<input type="checkbox"/> ⑥ 入院時問診票 身内の方の連絡先や入院前の状況についてご記入ください。	
以下、該当する場合にお持ちください。※ご不明な点は医事課にお問い合わせください。	
<input type="checkbox"/> ⑦ 承諾書(検査等が必要な方のみ)	
<input type="checkbox"/> ⑧ 公費受給者証(お持ちの方のみ)	
<input type="checkbox"/> ⑨ 高齢受給者証(70歳以上75歳未満の方:マイナ保険証を利用する場合提示は不要)	
<input type="checkbox"/> ⑩ 高額療養費限度額適用認定証(該当の方のみ事前に取得をお願いします)	
<input type="checkbox"/> ⑪ 前医療機関の退院証明書(他の医療機関を3ヶ月以内に退院された方のみ)	

★ 緊急入院の場合

緊急に入院が決まった方は、上記書類をなるべく早く1階受付窓口(または病棟クラーク)にご提出ください。

■ 個室のご利用

個室をご希望の方は、入院予約の際にお申し出ください。

なお、個室料金は次のとおりとなっています。(保険給付の適用外のため実費となります)

種類	個室料(税込)	バス	シャワー	トイレ	電子レンジ	テレビ 冷蔵庫
緩和病棟	個室 S 1日につき 16,500円	○		○	○	無料
	個室 A 1日につき 5,500円		○	○		有料テレビカード
	個室 B 1日につき 4,400円			○		有料テレビカード
回復期リハビリ病棟	個室 C 1日につき 3,300円		○	○		有料テレビカード
	個室 D 1日につき 2,200円			○		有料テレビカード
一般病棟	個室 S 1日につき 16,500円	○		○	○	無料
	個室 A 1日につき 5,500円		○	○		有料テレビカード
	個室 C 1日につき 3,300円			○		有料テレビカード

入院時の携帯品等について

該当にチェック☑してご確認ください。

① 洗面用具

歯ブラシ	ハミガキ	くし	洗面器	シャンプー・リンス	石けん	ひげそり・電気シェーバー	タオル	バスタオル
------	------	----	-----	-----------	-----	--------------	-----	-------

② 食事用具

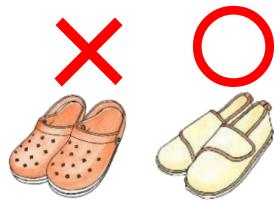
箸	スプーン	カップ・湯のみ	食事用エプロン
---	------	---------	---------

※食事介助が必要な方用として、売店で「使い捨て食事用エプロン」を販売しております。

③ 着替え・下着類 【シャツ・パンツ等の着替え用として各2~3枚をご用意ください】

シャツ	パンツ	寝巻き・パジャマ
-----	-----	----------

※寝巻き・パジャマは、有料で貸し出しております。



④ 紙オムツ、寝巻き、パジャマ

入院中は病院指定の紙オムツ等（有料）をご使用いただきます。

別紙「アメニティセットのご案内」をご参照ください。

⑤ 病棟内の履物

入院中の履物は、履きなれた靴やかかとのあるゴム底の運動靴が有効です。脱げやすく滑りやすいスリッパやサンダルのご使用はご遠慮ください。（売店でルームシューズを販売しております）

⑥ その他日用品

ティッシュペーパー	くず入れ	洗濯洗剤	汚れた着衣を入れる袋	メガネ	補聴器	義歎
-----------	------	------	------------	-----	-----	----

⑦ インターネット関連機器

院内で無料で御利用できるWi-Fiを用意しております。

外来・健診センター[ネットワーク名] IKAHO [接続PW] saiseikai

病棟 [ネットワーク名] byoto-g または byoto-a [接続PW] saiseikai

療養生活上、長時間のご使用はご遠慮ください。

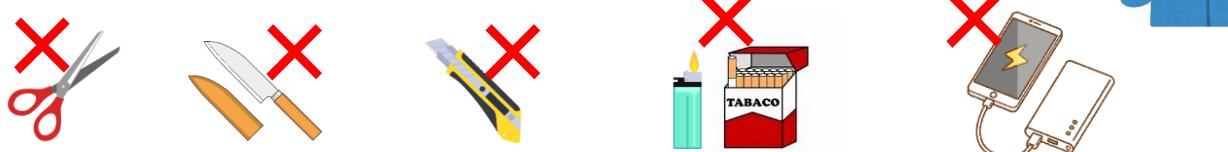
また、当サービスのご利用により生じた損害については当院は一切責任を負いません。

⑧ その他診療科や症状によって、ご用意いただく物品がある場合があります。

- リハビリや糖尿病治療の方は運動しやすい服装、筆記道具・帽子・運動靴
- []

⑨ ハサミ、カッター、果物ナイフ、ライター等の危険物、電子タバコ含むたばこ類、ペット類の持ち込みは固くお断りしております。

⑩ 火災予防のためモバイルバッテリーの持込みをお断りしております。 (ベッド毎にコンセントをご用意しています。)



貴重品について

該当にチェック☑してご確認ください。

□ 盗難防止のため、病院への持ち込みは必要最小限にしてください。

万一、盗難・紛失などが発生しても当院は責任を負いかねますので
ご了承ください。

入院中の紛失・破損を予防する為にご協力をお願いします。

1.貴金属・現金について

□ 指輪やネックレスなどの装飾品は、検査などに影響が出る場合があり、
外して持ち帰って頂くようお願いします。
所持される貴重品は、鍵付きの引き出しに保管するか、
身につけて各自で管理してください。現金の持ち込みも最小限として下さい。
また、現金のお預かりはいたしかねますので、あわせてご了承ください。



2.携帯電話やスマートホンについて

□ 紛失や盗難で個人情報が漏れる恐れもあり、
十分注意しご自身で管理して頂くようお願いします。

3.入れ歯・補聴器・眼鏡について

□ 患者さん及びご家族の責任で管理をお願いします。
専用の入れ物を用意して、入れ物に名前を記載してください。
使っていない時は、必ず入れ物に入れて引き出しなどに片付けてください。
布団やテーブルの上に置きつ放しにしておくと、動いた時に落ちて
破損や紛失する事があります。



□ 入れ歯について注意事項

ティッシュに包んでおくと、不衛生で
ごみと間違えて捨ててしまう事があります。
自宅では大丈夫でも、入院による生活の変化で
思わぬ事が発生するので
ティッシュに包んでおかないよう、
ご協力ください。



入院生活に関するお願い

該当にチェック☑してご確認ください。

■ お食事について

- アレルギーの方は、入院時に看護師にお申し出ください。

□ 食事時間

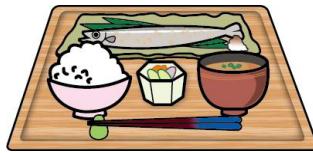
朝食	昼食	夕食
7時30分	12時00分	18時00分

※外出等で食事不要（欠食）の場合は、下記の時限までに看護師にご連絡ください。

ご連絡がない場合は、欠食となっても食事代をご請求させていただきますのでご注意ください。

朝食	昼食	夕食
前日の16時00分まで	当日の11時00分まで	当日の16時00分まで

※土・日・祝日の欠食は前日の16時までにお知らせください。



■ 起床・消灯時間について

- 起床時間 6時00分 消灯時間 22時00分

■ 付き添いについて

- 付き添いは原則としてお断りしております。ただし、病状によっては医師の許可を得てご家族の方に待機をお願いすることがあります。

■ 面会について

- 面会時間は13:30から19:30までとなっております。（土・日・祝日も同様です）

感染症流行状況により面会をお断りする場合や小さなお子様の面会をお断りする場合など通常と異なる場合がございますので看護師にお尋ねください。

※時間外入口は20:00に施錠しますので、ご注意ください。

- 多数の方の面会、お子様連れの面会、長時間の面会、時間外の面会は、

他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。

- 病状や診療、看護の必要性から面会をお断りする場合がございます。

- 発熱やせき、のどの痛み、嘔吐、下痢などの症状のある方の面会はお控えください。

- 面会中の飲食はご遠慮ください。



■ 外出・外泊について

- 外出・外泊については医師の許可が必要です。看護師にお申し出ください。

■ スマートフォン・携帯電話のご使用について

- 歩きながらの使用や、大声、長電話など、他の患者さんへのご迷惑となりますのでマナーをお守りください。また、病院内のエリアによって携帯電話のご使用を制限させていただきます。院内での写真・動画の撮影及び撮影物ならびに他の患者さんや職員の氏名を含めたSNS投稿はご遠慮ください。

■ 嗜好品について

- 敷地内は電子タバコも含め、全面禁煙となっております。

- 飲酒は固く禁止しております。



敷地内禁煙

入院中の転倒・転落防止についてのご協力のお願い

入院中は、環境や体調の変化、治療や薬の影響によって、ご自身で思っている以上に転びやすくなります。

転倒転落は、大きな怪我につながる恐れがある為、患者様の安全を守るために以下の点をご協力をお願い致します。

★歩行が不安定な患者様がベッドから起き上がる際や、病室内・トイレなどに移動する際には、必ず看護師を呼んでサポートを依頼してください。

こんな時が危険です!!

立ち上がる時

急に立ち上がるとふらつきます。
起き上がってから3つ数えてふら
つきが無い事を
確認して
ゆっくり
立ち上がりましょう。

1・2・3



椅子に座ったり、車椅子や杖の使用する時

- 椅子や車椅子との距離を確認して座りましょう。
- 車椅子への乗り降り時は、必ずブレーキをかけましょう。
- 杖は普段お使いの物をご使用ください。



ベッド周囲

- オーバーテーブルは、車輪があり動きますので、支えにしないでください。
- 入院中の荷物は、収納棚に収まるように整理し、床に置かないでください。
- コード類につまづかないように気を付けてください。
- 床がぬれている場合は、すべりやすくなります。
- ベッド柵は、両サイドに各1つ取り付けます。
- ベッドの上に立ったり、身を乗り出して物を取ろうとするとバランスをくずして危険です
＊落ちた物やはなれた所にある物は無理に取らない。
→看護師へお知らせください。



トイレでの注意事項

- トイレの後に気分が悪くなることがあります。
→一息ついてゆっくり動きましょう。
- 看護師と共にトイレまで移動した場合は、トイレが終わりましたら看護師を呼んでください。
- 睡眠薬を飲んだ後はふらつくことがあります。
→内服前にトイレをすませましょう。





歩く時の注意

- ・かかとのない履き物は、脱げやすいです。
- ・履きなれていて、滑らず、かかとが覆われている靴をおすすめします。
- ・福祉用具の靴は、売店にも揃えております。
- ・点滴スタンドや酸素ボンベを押しながら歩くときはチューブや段差に気を付けてください。
- ・また、車輪があるため、支えにすると危険です。
- ・検査や処置で使用したお薬の影響で、最初に歩くときにふらつくことがあります。
➡検査・処置後の初めて歩くときは看護師を呼んでください。



当院では、患者さんが安心して入院生活を送っていただけるよう、転倒・転落防止に努めています。安全を守るために、赤外線センサーやマットセンサーなどの見守り機器を、患者さんの状態に応じて使用しています。

これらは、できる限り自然な生活動作を尊重しながら、安全を確保するためのものです。一方で、患者さんの尊厳を守るため、身体拘束はやむを得ない場合を除き、最小限にとどめる方針としていますが、ご家族の方から「転倒を防ぐために身体拘束をしてほしい」とご希望をいただくこともあります。当院では、できるだけ拘束に頼らない方法で安全を守ることを大切にしていますので、ご理解ください。

身体拘束が必要と判断される場合には、その理由や方法を丁寧にご説明し、ご家族の理解を得たうえで行います。

職員一同、患者さんが少しでも安心して過ごせるよう支援してまいります。



転倒予防のためにさまざまな工夫や対策を行っておりますが、すべての転倒を完全に防ぐことは難しいのが現状です。当院の取り組みをご理解のうえ、患者さんが安全に、そしてその人らしく過ごせるよう、共に支えていただけますようお願いいたします。

その他のご案内

該当にチェック☑してご確認ください。

■ 院内の施設・設備について

売店	1階 エレベーターホール ・平日/8:00～17:00 ・土日祝日/10:00～14:00
ヤマザキショップの取扱商品・サービス	弁当、パン、サンドイッチ、おにぎり、菓子類、飲料、アイスクリーム、デザート、新聞、文房具、医療衛生用品、各種宅配サービス、公共料金等収納代行サービス
自動販売機	各病棟のデイルーム他
銀行ATMコーナー（福岡銀行）	1階 初診受付通路横 ・平日/9:00～18:00 ・土曜/9:00～17:00 ※日祝日は稼働していません。
郵便ポスト	1階 時間外出入口付近
タクシー直通電話	1階 初診受付通路横
さいせい図書室	2階 平日8：30～17：00 数多くの図書がございます。ご自由にご利用ください。

■ テレビカードについて

- テレビの利用にはテレビカードが必要です。なお、テレビカードは冷蔵庫・洗濯機・乾燥機にも使用できます。(テレビ用イヤホンは売店で販売しています)
- ・ テレビカード販売機…各病棟に設置しています。
 - ・ テレビカード精算機… 1階エレベーター右の壁側に設置しています。(テレビカード残高を換金します)

利用料	テレビ	…	1,000円/19.5時間	ドラム式洗濯乾燥機	…	200円/1回	洗濯機	…	100円/1回
	冷蔵庫	…	100円/24時間				乾燥機	…	100円/1回

※病棟内はラジオ電波は受信できませんのでご了承ください。

■ 駐車場について

- 入院中の駐車はご遠慮ください。やむを得ず駐車する場合は「駐車場利用申込書」をご提出いただきます。
病棟看護師又はクラークにお尋ね下さい。

■ 個人情報の取扱いについて

- 入院患者さんの問い合わせや電話取り次ぎを受けた場合は、次のように対応しておりますが、不都合がある場合には遠慮なく看護師にお申し出ください。
- ・ 入院患者さんを訪ねてこられた方から入院病室の問い合わせ、あるいは入院しているかどうかの問い合わせにはお応えしております。
 - ・ 外部から電話の取次ぎの依頼を受けた場合は、お取次ぎいたします。
ただし、電話の取次ぎや面会のお断りを希望される場合は、ご家族を含む全ての方を対象とさせていただきます。（特定の方だけを対象とすることはできませんので、あらかじめご了承ください。）
- 医療安全・誤認防止の観点から病室内にお名前を表示させていただきます。また、リストバンドの装着とフルネーム・生年月日の確認を行っています。ご理解とご協力をお願いします。

お支払い

■ 入院費の請求は毎月1回です。入院費は当月分を末日に締めて、翌月10日(10日が土日の場合は翌平日)にご請求いたします。

また、ご退院の際は退院当日までの請求書をお渡ししますので、1階の会計窓口でお支払いください。

■ 入院費のお支払いには、クレジットカードが利用可能です。

※ボーナス払いはご利用できません。



「高額療養費制度」について

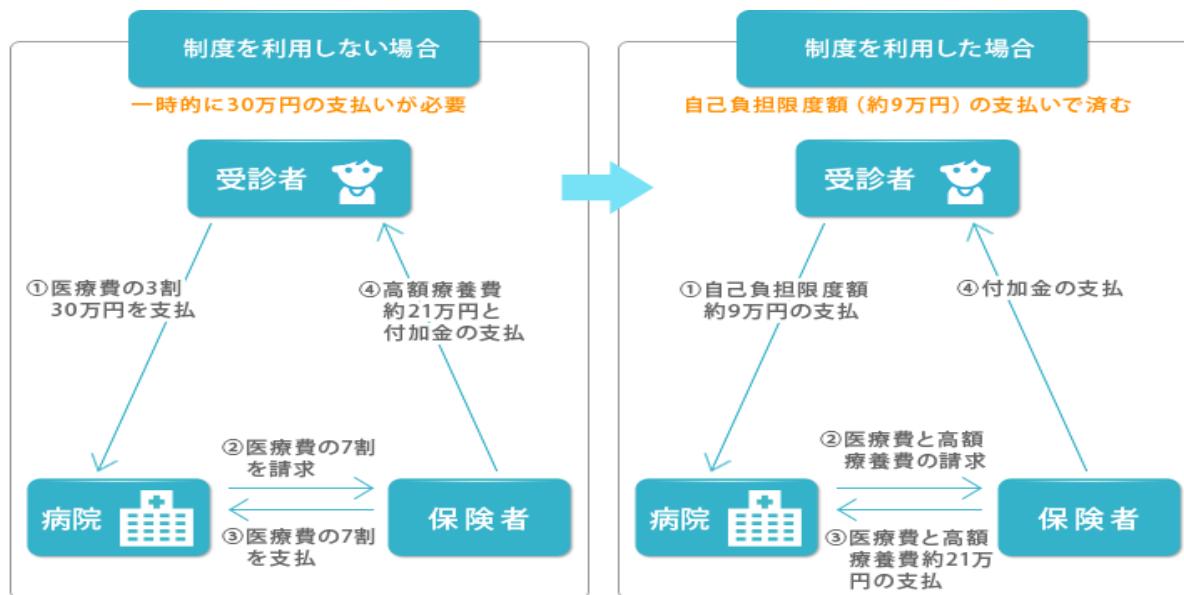
※詳しくは医事課にお問い合わせください。

■ 70歳未満の方は『限度額適用認定証』をご提示ください。

70歳未満(69歳まで)の方で、入院・手術などで診療費用が高額になる場合、あらかじめ『自己負担限度額に係る認定証(限度額適用認定証)』の交付を受けていただき病院窓口に提示いただくと、診療費用の患者負担額が軽減される制度です。

診療費用(請求額)が高額となった場合、全額をお支払いいただいた後でも保険者に対し申請を行えば、この制度で定められた自己負担限度額を超えた金額について払戻しを受けられますが、事前に(保険者に)申請を行い提出いただくことで、請求額に制度が適用され一時的な多額の現金の支払いを軽減できます。

事例:胃がんの手術で10日間入院した時(医療費が100万円/標準月額報酬30万円の方の場合)



※付加金の有無等は「保険者」にご確認ください。

■ 70歳以上の方は『高齢受給者証』をご提示ください。

70歳以上の方は『高齢受給者証』を提示いただくことで、限度額適用認定証の申請を行わなくとも、「高額療養費制度」が適用されます。

なお、所得区分が「低所得(住民税非課税世帯)」の方は、「限度額適用・標準負担額減額認定証」の申請が必要になります。

無料低額診療事業について

※詳しくは地域連携福祉事業課にお問い合わせください。

当院では、社会福祉法第2条第3項に基づいて、医療費の支払いが困難な方への「無料低額診療事業」（医療費の減免）を行っています。

■無料低額事業の目的は？

経済的な理由で必要な治療を受けることができない方に、安心して治療を受けていただくため、無料または低額で診療等を行う制度です。

■どのような方が対象になりますか？

経済的な理由により医療費の支払いが困難な方です。

- ・市町村民税非課税世帯の方
- ・失業中で診療費の支払いが困難な方
- ・更生保護施設入所中の方… 等

■制度を利用するにはどうすればいいのですか？

地域連携福祉事業課の医療ソーシャルワーカーがご相談に応じ、ご家族や生活のこと等をお伺いさせていただきます。また、面接時に申請書を作成し、次の必要書類を添えてご提出いただきます。

- ・申請者および世帯全体の収入がわかるもの（例：非課税世帯証明書、所得証明書…等）
- ・印鑑
- ・その他基準を満たしていることを確認する資料

■減免する診療費の範囲

診療にかかる医療費の自己負担分を対象にして、患者さんの経済状況に応じて減免率を算出させていただきます。

※院外処方箋による調剤薬局での負担金（薬代）は減免の対象なりません。

患者サポート窓口のご案内

当院では、入院・外来患者さんを問わず、病気やケガによって起こる生活上の問題について、一緒に考え方解決に向けたお手伝いを致します。医療ソーシャルワーカーと看護師が相談に応じます。お気軽にご相談ください。

退院後の自宅療養、
介護について

福祉制度や介護保険
制度の利用方法…

診療に対する不安や
入院生活の困りごと

転院が必要で、
病院・施設を探したい

車椅子やベッドの準備、手すりの取付、
トイレはどうすればいいの…

身体障害者手帳・自立支援
サービスについて…

医療費・入院費のこと
で相談したい…

地域医療福祉部（1F 会計横）

TEL（0948）22-3804（直通） 受付時間 平日 8:30～17:00

※ご相談の内容・個人情報は遵守いたします。



院内フロアのご案内

1F

モダンなデザインの建物は自然に囲まれ、広い敷地には、芝生広場、桜、ツツジ、けやき、イチョウ等…、緑と施設が調和した癒しの医療環境です。

●ラウンジルーム



●ヒーリングガーデン



病院の周りには散策路も整備されています。

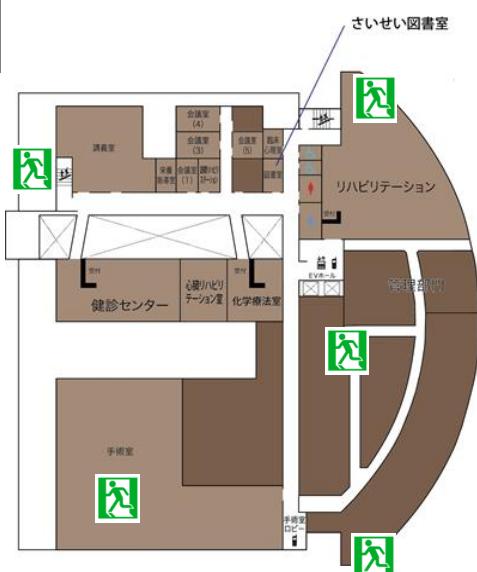
緩和ケア病棟



平日 8時～17時

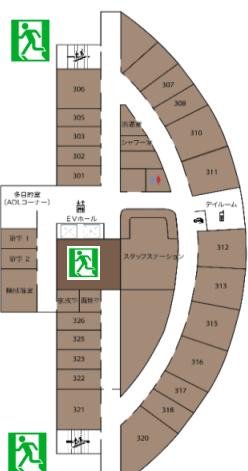
土日祝 10時～14時

2F



3F

回復期リハビリテーション病棟



4F～6F

地域包括ケア病床・一般病床



火災等の非常時に備えて

当院では、火災等の非常時に備えて、消防法に基づいて設備を整え、万全を期しておりますが、

入院時には、あらかじめ、非常口・避難経路等をご確認ください。

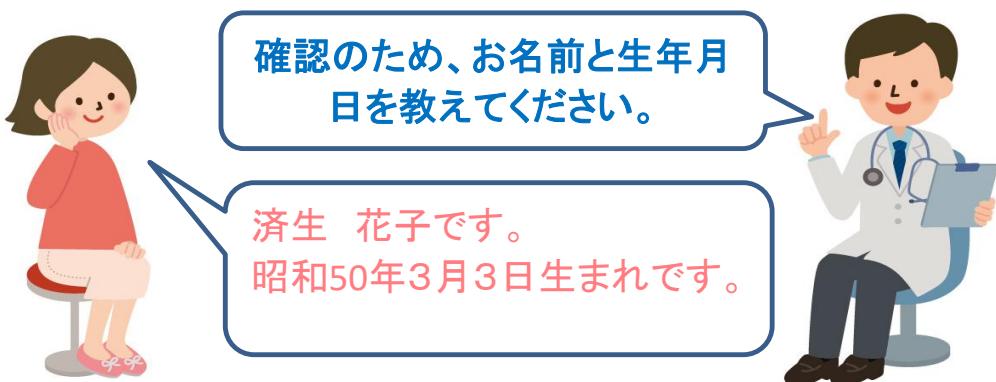
なお、非常事態が発生した場合は、職員の指示に従って行動してください。



同姓同名の方の人まちがいを防ぐために

当院では、診察や検査などの際、患者さんの誤認(人まちがい)を防止するため、お名前と生年月日を確認させていただいております。

職員がお声をかけますので、
ご自分のお名前(フルネーム)と生年月日を名乗っていただきますようお願いいたします。



入院中の感染予防について

- 病室を出入りするときは、廊下にある手指消毒剤をご使用ください。
- 病室から出るときや医療従事者と接する際は、鼻と口がしっかり隠れるように正しくマスクをつけてください。
- 咳や下痢、吐き気などの症状があるときは、早めにスタッフにお知らせください。
- 痰や鼻水を拭いた後は、手洗いをお願いします。
- 医療行為中、使用後の針をスタッフが誤って自分自身に刺してしまった場合安全のため患者さんに血液検査をお願いすることがあります。



自分のことは自分で決めるばい！

元気な人も年齢を感じてきた人も病気になって今後のことが心配な人も
ちょっと立ち止まってご自身のことやこれからのこと
今から考えてみませんか。



step 1

自分にとって、大事なことは何か考えてみようやあ



これからの自分らしい生き方について、考えてみましょう。

step 2

自分の代わりに気持ちを伝えてくれる
人を選ぼうやあ

あなたが自分の考えや気持ちを伝えられなくなったりしたときに、あなたの価値観や考え方を大切にして、あなたの代わりに気持ちを伝えてくれる人（代理人）を選んでおくことが大事です。



step 3

自分の気持ちや考えについて、
みんなで話し合うばい

もし誰とも話もできない状態になると、家族など身近な人たちが重要な決定をしなければならないことがあります。最期まで自分らしく過ごすためにも、あらかじめ話し合い、気持ちを共有することが大切です。

step 4

あなたの気持ちを伝えようやあ
そして書いとこうやあ



大切な人と繰り返し話し合い、共有しておくことが大切です。「心づもり」として記録しておきましょう。

当院で配布している冊子「私の心づもり」について
は、お近くのスタッフにお尋ねください。

希望や思いは、時間の経過や健康状態によっても変化していくものです。何度も繰り返し考えましょう。



交通アクセス

- ◎ バスの場合 西鉄飯塚バスセンター→済生会
飯塚嘉穂病院行（約20分）
- ◎ タクシーの場 JR天道駅から（約5分）
- ◎ 徒歩の場合 JR天道駅から（約20分）
- ◎ お車の場合 国道200号線の済生会病院信号
から右折又は左折（駐車場完備）

ご連絡先

社会福祉法人 恩賜財團 済生会支部
福岡県済生会飯塚嘉穂病院

〒820-0076 福岡県飯塚市太郎丸265

Tel.0948-22-3740(代表) FAX.0948-29-1987(総務)

<http://iizuka-kaho.jp/>



令和7年12月15日改定